

博士課程前期(環境科学部門)

科目区分		授業科目名	単位数	使用言語	要修得単位数	
必修	総合科学演習	総合科学演習	2	※1	2	
	コア科目	コア科目 A コア科目 B	2 2	※1 ※1	4	
	特別研究	特別研究(自然環境研究) 特別研究(総合物理研究) 特別研究(情報システム環境研究) 特別研究(社会環境研究)	8 8 8 8	※1 ※1 ※1 ※1	主領域 から 8	
選択必修	領域	分野	保全生態学 共生微生物学 生物多様性科学(環境科学入門)	2 2 2	※1 ※1 英語	12 (主領域 から 8) 他領域 から 4)
	地球表層物質輸送論	1	英語			
	表層物質動態論	2	日本語			
	表層環境変動論	2	日本語			
	気候変動災害論	2	日本語			
	環境とコロナ	2	※1			
	総合物理研究	物理 雑学系	複雑系基礎論	2	※1	
			複雑系物質論	2	※1	
	情報環境研究	情報 システム	情報システム論	2	※1	
情報セキュリティ論			2	※1		
計算科学情報環境論			2	※1		
社会環境研究	地域 環境	地域環境基礎論	2	日本語		
		持続可能地域論	2	日本語		
		地域情報論	2	日本語		
		接続可能な観光発展論	2	英語		
		現代社会論	2	日本語		
他部門専門科目	現代 社会論	社会動態論	2	日本語		
		社会階層論	2	日本語		
		福祉社会論	2	日本語		
		世界経済体制論	2	日本語		
		産業システム論	2	日本語		
コミュニティー論	2	日本語				
自由選択	リテラシー科目	研究倫理 ICTリテラシー 文書企画管理演習 リスク・コミュニケーション 英語運用演習	1 1 1 2 1	日本語 日本語 日本語 ※1 英語	4	
	総合科学共同セミナー		2	※2		
合計					30	

## 履修方法

- ① 必修科目「コア科目」は、「コア科目 A」、「コア科目 B」の順に連続して履修することとする。「コア科目 A」及び「コア科目 B」は、いずれも「現代リスク論」、「創造と想像」、「総合情報論」及び「文明と環境」の 4 クラスのうちから指定された 1 クラスを履修する。
- ② 必修科目「特別研究」は、主領域の開設科目を履修する。
- ③ 選択必修科目「専門科目」は、主領域の開設科目から 8 単位、他領域の開設科目から 4 単位を修得する。なお、他領域の開設科目から修得する 4 単位には、他部門の専門科目を含むことが望ましい。
- ④ 自由選択科目には、③の選択必修科目「専門科目」の要修得単位数を超えて履修した科目及び広島大学大学院共通授業科目を含むことができる。また、主指導教員と協議の上、他研究科開設授業科目を含むことができる。
- ⑤ 博士課程リーダー育成プログラム履修者は、必修科目の「総合科学演習」、「コア科目」及び「特別研究」を除く授業科目について、主指導教員と協議の上、博士課程リーダー育成プログラムに対応したカリキュラムを自主編成することができる。
- ⑥ 使用言語欄に※1 を付した授業科目は、履修する学生の状況により、日本語、英語又は日本語及び英語の併用のいずれかの方法で実施する。
- ⑦ 使用言語欄に※2 を付した授業科目で使用する言語は、開講時に指定する。